

科目名 Course Name	相談援助の理論と方法IV Social Work Theory and MethodsIV			ナンバリング No.	I4-002	
年次	2 年次	期別	後期	単位数	2	授業形態 講義
担当者氏名	佐藤 佳子					
連絡先(質問等)	栄養棟 3 階研究室へ来室、またはメールで対応、オフィスアワーは、授業以外の時間。					
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)					
関連 DP	DP3,DP4,DP5					
授業の概要と到達目標	<p>相談援助技術における対象の理解、スーパービジョン、ケースカンファレンスなどを学習する。上記を学ぶとともに相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。将来、相談援助の場面において、本講義で学んだことを活用し、利用者への確かな支援ができるような基礎レベルの技術の定着を目指す。</p> <p>①スーパービジョンの方法と留意点を説明できるようにする。 ②ケースカンファレンスの意義と目的を学び、その展開過程を確認できるようにする。 ③事例研究・事例分析の方法について学び、例証できるようにする。 ④事例のなかで活用されている援助技術や各援助技術の関連を明確にできるようにする。</p>					
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料とリアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。					
学習成果	L01					
	L02	仮に設定した援助場面で相談援助の知識・技術を活用できる。				
	L03	スーパービジョンの技術を用い、自己成長に努めることができる。 事例研究・分析の方法を説明例証することができる。				
	L04					
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。					
教科書/参考図書	教科書:「相談援助の理論と方法Ⅱ」弘文堂(相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱで使用したもの)					
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求められることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。					
担当教員の実務経験						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		30	40	
その他					
合計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	スーパービジョン① スーパービジョンの必要性
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認
2	授業内容	スーパービジョン② スーパービジョンの機能と方法
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	ソーシャルアクション① 意義と目的
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
4	授業内容	ソーシャルアクション② ソーシャルアクションの実際
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
5	授業内容	プレゼンテーション①(プレゼンテーションの意義、目的)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
6	授業内容	プレゼンテーション②(方法、留意点)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	ネゴシエーションの意義、目的、方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	ファシリテーション①(意義、目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
9	授業内容	ケースカンファレンス①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	ケースカンファレンス②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	事例検討の視点① 事例分析・事例研究
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:事例を事前に読んでおく。
12	授業内容	事例検討の視点②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:事例検討の見直しをしておく。
13	授業内容	個人情報の保護
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	相談援助におけるITの活用
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:さまざまな相談援助で活用されるITについて調べる。
15	授業内容	後期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強